政策Ⅶ

# 安全でおいしい水と快適な生活環境が持続されたまち

## この分野の主な課題

### 主要施策 39　上下水道事業の充実

●水道事業では、計画的に統合浄水場の整備と基幹管路の耐震化に取り組むとともに、定期的な料金体系の見直しや施設への投資費用の平準化に取り組む必要があります。

●下水道事業では、老朽化が進む施設の統廃合を計画的に進めて快適な生活環境を維持するとともに、使用料体系の定期的な検討を進め、財源を確保する必要があります。また、出水期に既存水路の能力を最大限に発揮できるよう定期的な施設点検を実施する必要があります。

施策１ 上下水道事業の充実

# 主要施策 39　上下水道事業の充実

## \ 将来あるべき姿 /

**公営企業の経営原則を踏まえ、将来にわたって安定的な経営を実施し、快適なくらしと生活環境を維持しています。**

## 協働の取組

### 市の取組

**❶上水道の安定供給**

一貫した水質管理により、水道水の安全性を確保します。また、老朽施設や管路の計画的な補強、更新を行い、災害に強い水道システムを構築します。

**❷下水道の安定処理**

中長期的視点に立ち、処理場、汚水管渠などを適切に維持管理することで、効率的な汚水処理を実施します。また、出水期に備え、雨水排水施設の適切な維持管理に努めます。

**❸水道事業・下水道事業の安定経営**

適切な水道料金、下水道使用料を維持するとともに、施設の統廃合を計画的に進め、中長期的な施設の状態を予測することで、投資費用を平準化します。

### 市民・地域・事業者等に期待すること

●市民や事業者は、上下水道の重要性を認識し、水を大切に使用するとともに、水道料金、下水道使用料を納期限内に納付します。

●地域は、雨水幹線に影響を及ぼさないように適切な水路管理やゲート操作を行います。また、ため池管理者は、大雨の前に、調整機能がある池の水位を下げます。

●事業者は、下水道へ流す基準を遵守するとともに、開発にかかる申請時には調整池の設置を行い、既設水路に負担をかけないようにします。

## まちづくり指標

| 指標名 | 実績値 2016(H28) | 実績値 2021(R3) | 目標値 2027(R9) |
|---|---|---|---|
| ❶ ❷ **上下水道等の整備の満足度**<br>市民アンケートにおいて、上下水道などの整備状況を満足と感じる市民の割合 | 79.0%<br>(H29) | 86.7%<br>(R4) | 90.0% |
| ❸ **水道事業経常収支比率**<br>水道事業の健全化の状況(経常費用に対する経常収益の割合) | 120.7% | 116.0% | 110.7% |
| ❸ **下水道事業経常収支比率**<br>下水道事業の健全化の状況(経常費用に対する経常収益の割合) | 96.7% | 98.0% | 100.2% |